

「疲れたときにホッと一息、心の栄養バランス供給源」
むげんだい

夢限大 ∞



ttp://www.kizu.ed.jp/kizu2-jhs/

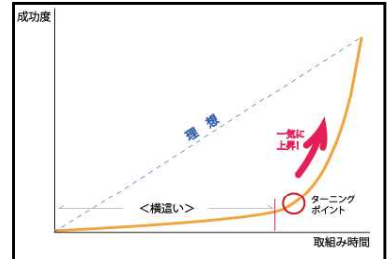
木津川市立木津第二中学校

平成29年11月14日(火)

vol.26

成功曲線

何かを学習したり経験したりするとき、すぐにその成果が表れるようなことはありません。当たり前ですが、何かで大きな結果を出すためには**時間**が必要です。ただ、多くの人は大きな結果を出す前にあきらめてしまいます。わずか数ヶ月の努力しかしていないにも関わらず、自分は無理だと思い、すぐに元の状態に戻ってしまうのです。そこで、人がどのように成長し、成果が表れてくるのかについて、あらかじめ知っておく必要があります。人間の**成功曲線**を事前に理解しておけば、いま成果が表れていなくてもまったく問題ないことに気づけるようになります。



では、今からある実験を試してみたいと思います。机の上に新聞紙を1枚準備してください。

まずは、1枚の新聞紙を半分に折ってください。そして、その新聞紙をもう一度半分に折ってください。さらに、その新聞紙を半分に折ってください。そろそろ、面倒だなと思っている人はいませんか？あきらめないでください！さらにもう一度、半分に折ってみてください。これを、何度か繰り返して、これ以上折れないというところまで、根気強く続けてみてください。さて、何回くらい折ることができましたか？大体、6~8回というところではないでしょうか？

では、ここで質問です。何回この作業を繰り返せば、**富士山の高さ** (3776m) になるでしょうか？もちろん、物理的にはそんなことできるはずがありません。気が遠くなるほどの作業を想像した人が多いと思います。

しかし、実際にはたったの**26回**で、富士山の高さを超えることができるのです。キツネにつまわれたような話ですよ。どういうことか、説明します。

ここからは少し数学的な話になります。仮に1枚の新聞紙の厚さを分かり易いように0.1mmとして計算します。1回折ると0.2mm、2回折るとその倍の0.4mm、3回目目で0.8mm、4回目目で1.6mmになります。以下、倍々に増えていくと考えると、右の表のようになります。つまり、26回目で富士山の高さを超えるのです。

人の話をあまり信用しない人は、せいぜい15回くらいであきらめてしまいます。しかし、「**成功曲線の法則**」を知っている人は、この後、本領を発揮するのです。20回目目で100mを超え、24回目目で1600mを超え、25回目目で3300mを超え、あと1回折れば悠々と富士山を超えるのです。

5回	3.2mm	16回	6553.6mm
6回	6.4mm	17回	13107.2mm
7回	12.8mm	18回	26214.4mm
8回	25.6mm	19回	52428.8mm
9回	51.2mm	20回	104857.6mm
10回	102.4mm	21回	209715.2mm
11回	204.8mm	22回	419430.4mm
12回	409.6mm	23回	838860.8mm
13回	819.2mm	24回	1677721.6mm
14回	1638.4mm	25回	3355443.2mm
15回	3276.8mm	26回	6710886.4mm

勉強や部活動においても、すぐに結果が出るのではなく、一定の学習時間や練習時間をかけなければ、成果はでないということです。そして、ある瞬間から**飛躍的**に成長できることがあるのです。(上のグラフ)

しかし、多くの人は挑戦しても途中であきらめてしまいます。この「**成功曲線の法則**」を知らないからです。とてももったいない話ですよ。なので、頑張っているにもかかわらず、思うような成果が出せないとしても焦ってはいけません。**継続した正しい学習や経験を続けていけば、成果は必ず遅れて表れます。**このことを理解して、圧倒的な**努力**を積み重ねるようにしたいものですね。

目に見えない「根っこ」

「根っこ」は一体いつ伸びるのか、知っていますか？以前読んだ本に答えがあったので、紹介します。

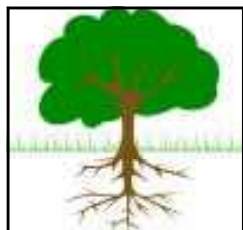
植物にとって根っこは水や養分を吸収したり、体を支えるための大切な器官である。根っこがなければ、植物はたちまち干上がってしまうし、根っこが十分に張っていないと、茎が簡単に倒れてしまう。

同様に、人間にとっても「根っこ」は大切なものだ。「根気」や「根性」「根本」など、「根」という言葉が人の本質を表すことからそれがわかる。

それでは、その根はいつ伸びるのだろうか。水栽培されているヒヤシンスなどを見ると、短い根が出ているだけで、根っこはあまり伸びていないし、細かい根はほとんど生えていない。水が十分にある条件では、必要以上に根を伸ばす必要がないのだ。水がないところでは、植物の根は水を求めてグッと深く伸びる。そして、四方八方に張りめぐらされた根が、大地をしっかりとつかむのである。**根が成長するのは、条件に恵まれたときではない。苦しいときにこそ、根が伸びるのだ。**恵まれたときは、茎を伸ばしたり葉を茂らせるのに忙しくて、根は伸びている暇がない。干されたときこそが成長のチャンスである。土の下に伸びた根っこは、目に見えないがその植物の実力そのものである。毎日、水を与えている庭の草花が夏の日照りで萎れているのに、誰も水をやらない道ばたの雑草は青々と茂っている。日照りにあったときに、その植物の真の強さがわかる。雑草に水をやる人はいない。けっして恵まれた条件に生えているとはいえない。だからこそ、毎日、水を与えられている草花とは根の張り方が違うのである。

『雑草に学ぶ「ルデラル」な生き方』稲垣 栄洋 著／亜紀書房

目に見えない「根っこ」を育てるのは、恵まれた環境ではないのです。もがき、苦しみ、悲しみ、涙が出る時なんですね。もし、今苦しいのであれば、それは「根っこ」が伸びている証拠です。この先の世界で、きっと丈夫な幹や葉や実を作ってくれることでしょう。「**実を結ぶ**」とはこのことですね。



★キラキラ輝く中学生★

生徒会本部役員選挙が行われ、新体制でこれから1年間、様々な活動に取り組みます。中学生の良さがさらに伸ばせるよう、様々なことにチャレンジしていきましょう！

本日から、期末テスト1週間前に入りました。計画的に学習を進めていきましょう！